

2026 年 9 月 3 日

「相鉄ポイント」最大 10,000 ポイントをプレゼント YOKOHAMA どっちも定期 新規購入・区間変更キャンペーンを実施 この秋、新しい通勤ルートでおトクにポイントゲットしよう！

相模鉄道株式会社
株式会社相鉄ビルマネジメント

相鉄グループの相模鉄道(株) (本社・横浜市西区、社長・平野 雅之) と(株)相鉄ビルマネジメント (本社・横浜市西区、社長・左藤 誠) は、2026 年 9 月 18 日 (金) から 10 月 17 日 (土) までの期間、「YOKOHAMA どっちも定期 新規購入・区間変更キャンペーン」(以下、同キャンペーン) を実施します。

同キャンペーンは、「YOKOHAMA どっちも定期」の対象となる相鉄新横浜線「西谷駅～新横浜駅間」または相鉄・J R直通線「西谷駅～羽沢横浜国大駅～J R線区間」を全て含む IC 通勤定期券 (PASMO 通勤定期券または Suica 通勤定期券) を、新規もしくは区間変更でご購入いただいた方に「相鉄ポイント」(最大 10,000 ポイント) をプレゼントするものです。

相鉄線は、J R線や東急線との直通運転の開始により、速達性の向上や乗換回数の減少が実現し、大崎・渋谷・新宿・池袋・大手町・永田町を始めとした東京都心方面や新横浜駅での東海道新幹線へのアクセスが飛躍的に向上しました。この機会に「YOKOHAMA どっちも定期」に乗り換え、相鉄線をおトクに、快適に利用しませんか？
概要は別紙のとおりです。



■「YOKOHAMA どっちも定期」とは

相鉄新横浜線「西谷駅～新横浜駅間」を全て含む IC 通勤定期券、または相鉄・J R直通線「西谷駅～羽沢横浜国大駅～J R線区間」を全て含む IC 通勤定期券をお持ちのお客さまが、追加運賃のお支払いをすることなく、相鉄本線 横浜駅のみ乗降ができるサービスです。IC 通勤定期券の新規購入時、または区間変更時やサービス利用時に特別な手続きは必要ありません。

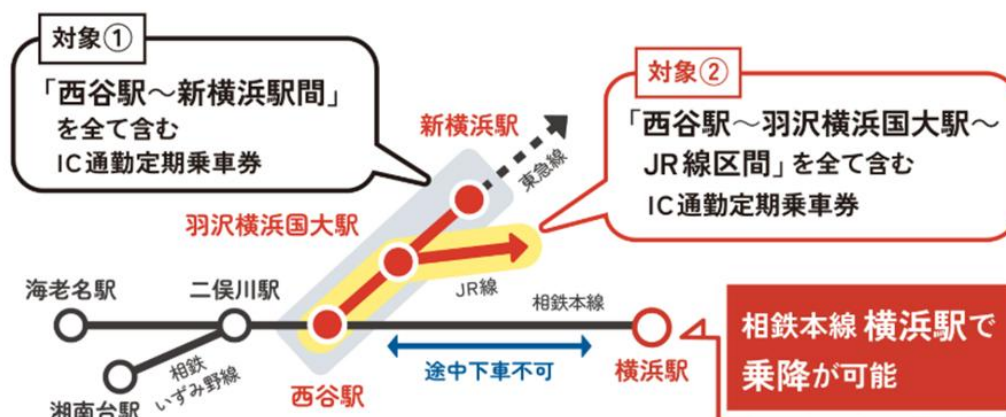
・通学定期券および小児定期券、磁気定期券は、サービスの対象外です。

YOKOHAMA どっちも定期 新規購入・区間変更キャンペーンの概要

1. 内容

定期区間に、以下の図の対象①または対象②の区間を全て含む IC 通勤定期券（PASMO 通勤定期券または Suica 通勤定期券）を、新規もしくは区間変更でご購入いただいた方を対象に、「相鉄ポイント」最大 10,000 ポイントをプレゼントします。

※継続でのご購入は対象外です。



2. キャンペーン期間・場所

○キャンペーン対象となる PASMO 通勤定期券・Suica 通勤定期券の使用開始日

2026 年 9 月 18 日（金）～10 月 17 日（土）

※ポイントの受け取りは、定期券の使用開始日から起算し、8 日目以降からポイントの受け取りが可能です。

（例）10 月 1 日（木）に購入し、10 月 3 日（土）使用開始の定期券の場合、10 月 10 日（土）からポイントの受け取りが可能。

※9 月 18 日（金）～9 月 23 日（水・祝）の期間に購入・使用開始の定期券の場合、10 月 1 日（木）以降にポイントの受け取りが可能。

※受け取り期間を過ぎた場合、ポイントのお受け取りができなくなりますのでご注意ください。

○ポイント受け取り期間

2026 年 10 月 1 日（木）～10 月 31 日（土）の各日 10:00～21:00

○ポイント受け取り場所

相鉄ジョイナス 地下 1 階 相鉄ポイントカウンター（南 8 番出口近く）

3. プレゼントするポイント数

相鉄線内の定期券区間に応じて、相鉄ポイントを付与します。

※「相鉄ポイント」は、相鉄ジョイナスやそうてつローゼンなどの相鉄グループの各商業施設、「SOTETSU GOODS STORE」二俣川で、1 ポイント＝1 円としてご利用いただけます。

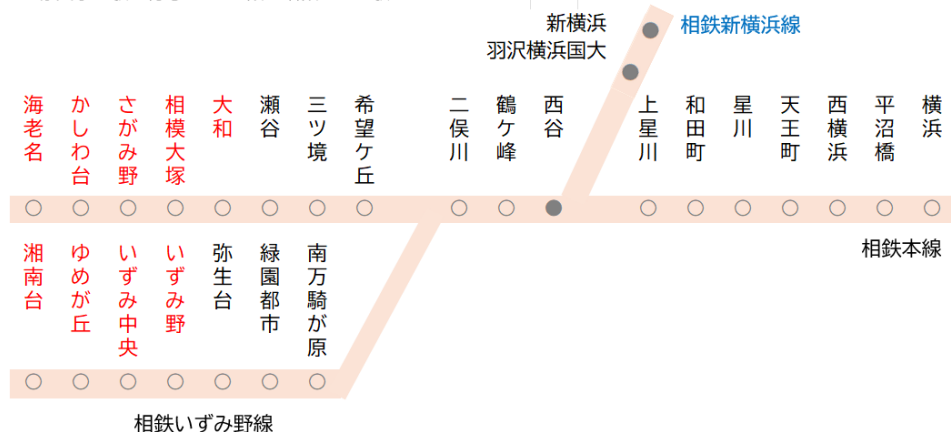
■相鉄線における定期券の発駅、または着駅が以下のいずれかの場合

- ・「横浜駅～瀬谷駅」
- ・「南万騎が原駅～弥生台駅」

	1 カ月定期	3 カ月定期	6 カ月定期
通勤定期（大人）	1,000 ポイント	3,000 ポイント	5,000 ポイント
通勤定期（大人障がい者・介護者）	500 ポイント	1,500 ポイント	2,500 ポイント

- ・「大和駅～海老名駅」
- ・「いずみ野駅～湘南台駅」

※赤文字の駅…付与ポイント額が増額される駅



(1) キャンペーン対象の定期券をご購入【継続でのご購入は対象外】

- ・定期区間に「西谷駅～新横浜駅」または「西谷駅～羽沢横浜国大駅～ＪＲ線区間」を全て含む
- ・定期券の使用開始日が 2026 年 9 月 18 日（金）～10 月 17 日（土）の期間内

※PASMO カードや Suica カード、モバイル PASMO やモバイル Suica、Apple Pay の PASMO や Suica、クレジットカードや公的証明書と一体になった PASMO や Suica が対象。

※PASMO または Suica 以外の IC カードや磁気定期券は、キャンペーン対象外。

※通学定期券および小児定期券は、キャンペーン対象外。

ポイント受け取り手続きまでに、相鉄 Style アプリで「相鉄ポイント」会員のご登録。

※相鉄ポイント会員のご登録方法

<https://www.sotetsupoint.jp/howtoregister/>



相鉄ポイント会員のご登録方法

ポイント受け取り期間中に「相鉄ジョイナス 相鉄ポイントカウンター（地下1階）」へ IC 通勤定期券（PASM0 通勤定期券・Suica 通勤定期券）をご提示ください。キャンペーン対象の PASM0 通勤定期券または Suica 通勤定期券であることの確認作業を行い、ポイント付与条件を満たしている確認がとれましたら、その場で「相鉄ポイント」を付与します。なお、「相鉄ポイント」を付与する際に、PASM0 番号または Suica 番号および「相鉄ポイント」の会員番号を記録し、受取書にサインをいただきます。

①対象のPASMO通勤定期券やSuica通勤定期券
②相鉄Styleアプリがインストールされた端末
③公的証明書※1

<注意点>

- ・本キャンペーンによる「相鉄ポイント」の受け取りは、お一人さま1回のみとなります。
- ・ポイントの受け取り（券面確認）は、定期券の使用開始日を1日目として、8日以上経過した定期券が対象となります。
※使用開始日が9月18日（金）～9月24日（木）の定期券は、10月1日（木）から受け取りが可能となります。
※使用開始日が9月25日（金）以降の定期券は、受け取り可能期間にご注意ください。
（例）使用開始日が10月1日（木）の定期券は、10月8日（木）から受け取りが可能となります。
- ・定期券面に記載されているお名前と相鉄ポイント会員に登録されたお名前が、公的証明書のお名前と同じであることを確認します。ご本人確認ができる公的証明書をお持ちの上、必ず定期券面に記載されているお名前のご本人さまがお越しください。
- ・モバイルPASMOやモバイルSuica、Apple PayのPASMOやSuicaをご利用の方はご利用の端末、Apple Watchの方はペアリングしたiPhoneをお持ちください。
- ・定期券面の印字内容が薄く、相鉄ポイントカウンターにおける目視確認が困難な場合は、相鉄線各駅窓口で「定期券内容確認依頼書」の発行をお願いする場合があります。
- ・相鉄ポイントカウンターにご提示いただいた定期券面の情報をもとに、キャンペーン対象であることの確認を行います。1カ月定期の場合はポイント付与期間中に継続購入が可能となりますが、相鉄ポイントカウンターへの提示前に継続購入されると、継続定期券のためキャンペーン対象外となりますのでご注意ください。

※1 マイナンバーカード（個人番号カード）、運転免許証、パスポート、写真付き住民基本台帳カード、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳（愛の手帳）、在留カード、特別永住者証明書、運転経歴証明書など

5. その他

- ・「Suica」「モバイル Suica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- ・「PASMO」「モバイル PASMO」は、株式会社パスモの登録商標です。
- ・「Apple Pay」「Apple Watch」および「iPhone」は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

6. お問い合わせ

■同キャンペーンに関するお問い合わせ

相鉄お客様センター

電話番号：045-319-2111（平日 9:00～19:00／土日祝 9:00～17:00）

■「相鉄ポイント」に関するお問い合わせ

相鉄ポイントコールセンター

電話番号：0570-030-380（ナビダイヤル：通話料有料 営業時間 10:00～18:00）

相鉄グループの GREEN×EXPO 2027 Village 出展について

相鉄グループは、2027年3月19日（金）から開催される「2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）」の Kids Village（キッズビレッジ）にて、「SOTETSU PARK（そうてつぱーく）」を出展します。

SOTETSU PARK のコンセプトは「ともだちとすみか」。「ともだち」は、ひとをはじめ身近に暮らす生きもの、「すみか」は、生きものそれぞれに適した住処を指し、生物と自然が影響を及ぼし合いながらも調和して暮らすフィールドを表します。子どもたちが「ともだち」に出会い、「すみか」で遊びながら触れていくことで、身近な生きものや自然を知り、守るアクションにつなげていくことを目指します。

